

1. 件名：検査制度見直しに関する日本原燃株式会社等との面談

2. 日時：令和元年10月28日（月）15：00～16：15

3. 場所：原子力規制庁2階会議室B

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 伊藤課長補佐、高橋課長補佐

核燃料施設等監視部門 熊谷統括監視指導官、百瀬管理官補佐、関主任監視指導官

日本原燃株式会社 技術本部 輸送管理部 部長 他5名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原燃計画グループリーダー

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料計画グループ 課長

日本原子力発電株式会社 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 担当

原燃輸送株式会社 輸送部 輸送グループ マネージャー

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、本年9月17日の面談を踏まえて、配布資料（1）に基づき、英国で製造されたガラス固化体が日本で貯蔵されるまでの手順について、作業責任分界点に注目した説明があり、次いで配布資料（2）に基づき、返還ガラス固化体の事業所外運搬に関する活動についての保安規定記載案の検討状況について説明があり、原子力規制庁と意見交換を行った。

(2) 原子力規制庁から、保安規定の具体的な記載方法や検査の独立性に関する考え方などを含め、特に英国における発送前検査に関し、検査の独立性を事業者としてどのように確保するか、具体的な検討を進めて面談で説明をするよう求めた。

6. 配布資料

(1) 英国返還ガラス固化体の輸送から貯蔵に係る主工程（日本原燃資料）

(2) 返還ガラス固化体輸送物の運搬に関する保安規定記載について（日本原燃資料）